

★先生方へ～解答欄の①～⑤の番号は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

※つぎのページにも もんだいが あります。



↓

か

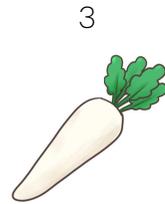
⑤



↓

は

④



↓

だ

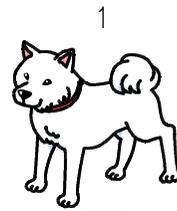
③



↓

み

②



↓

い

①

いち つぎの えをみて、 に ひらがなを かいて
ことばを かんせいさせましょう。

めあて がくしゅうした ひらがなを つかって いろいろな ことばを かこう。

令和三年度 ほっかいどうチャレンジテスト
一学期末問題(第二回) 国語 小一

組 番 名



あ

が

⑩



は

が

さ

⑨



ぱ
ん
だ

が

ね
る
。

二に
つぎの えを みて、
ぶんを かんせいさせましょう。ぶんの おわりには、
「。」を かきましよう。



に

ひらがなを

かいて



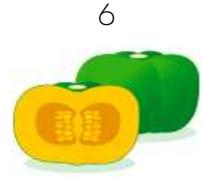
び

⑧



じ

⑦



か

⑥

めあて じゅんじよに 気を つけて 文しようを 読もう。

一 つぎの 「たんぽぽ」という 文しようを 読んで、あとの 問題に こたえましょう。

花を よく 見て みましょう。

一つの 花のように 見えるのは、小さな 花の あつまりなのです。小さな 花を 数えて みたら、百八十も ありました。これより 多い ものも、少ない ものも あります。この 小さな 花に、みが 一つずつ できるように なって います。

花が しばむと、みが そだって いきます。みが じゆくすまで、花の くきは、 ひくく たおれて います。

みが じゆくして たねが できると、くきは おき上がって、たかく のびます。 はれた 日に、 わた毛が ひらきます。たかく のびた くきの 上の

わた毛には、風が よく 当たります。わた毛は、風に ふきとばされます。かるくて ふわふわした わた毛は、風に のって、とくに 行く ことが できます。

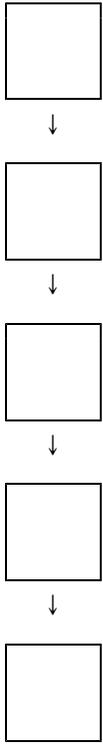
「たんぽぽ」ひらやま かずこ より(平成三十一年度 東京書籍)



1 たんぽぽの わた毛が とばされるまでの ようすに ついて、どのような じゅんじよで 書かれて いますか。

つぎの **ア**から**オ**を ならびかえて、きこうで こたえましょう。

- ア** わた毛が ひらく。
- イ** みが そだつ。
- ウ** たねが できる。
- エ** くきが おき上がる。
- オ** 花が しばむ



2 この 文しようには 二つの ことがらが せつめいされて います。 [] に あてはまる ことばを 書きましょう。

はじめに 花のしくみの せつめいが あって、そのつぎに 花が しばんでから [] が とばされるまでの せつめいが 書いて あるね。



[]

②

※つぎのページにも問題があります。

めあて 聞く人に わかりやすい じゅんじよで せつめいしよう。

二 上田さんは、絵の かき方を つぎのように せつめいしました。 つぎの 文しようを 読んで、あとの 問題に こたえましよう。

＜上田さんのせつめい＞

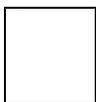
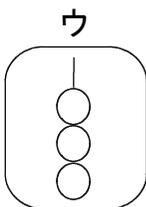
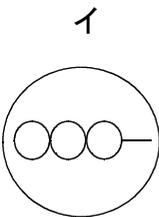
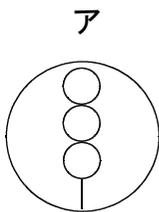
くしだんごの 絵の かき方を せつめいします。
はじめに、さらをかきます。大きい丸を かいて ください。
つぎに、だんごをかきます。大きい丸の中に、小さい丸を 三つ、たてに ならべて かいて ください。
さいごに、だんごに ささった くしをかきます。上から 三つ目の 丸の 下に、みじかい たての 線を かいて ください。

これで くしだんごの 絵の できあがりです。

「ことばで 絵をつたえよう」より（平成三十一年度 東京書籍）

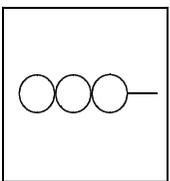


1 せつめいの とおりに 正しく かけて いるのは どれですか。 つぎの アからウまでの 中から えらびましよう。



③

2 山下さんは、左のような 絵をかきました。上田さんの せつめいを 見ならって、①から ③に ことばを 入れて、せつめいする 文を かんせいさせましよう。



＜山下さんが かいた絵＞

くしだんごの 絵の かき方を せつめいします。



④、さらをかきます。大きい 四角を かいて ください。

つぎに、だんごをかきます。大きい 四角の中に、小さい 丸を 三つ、



⑤ ならべて かいて ください。



⑥、だんごに ささった くしをかきます。左から 三つ目の

丸の よこに、みじかい よこの 線を かいて ください。
これで くしだんごの 絵の できあがりです。

めあて 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にして書こう。

一 谷口さんは、学校にさいている花について調べてまとめました。
谷口さんのレポートを読んで、あとの問題に答えましょう。

〈谷口さんのレポート〉

学校には、どんな花がさいているのか。
3年2組 谷口 広

- 調べた理由
ぼくは、このあいだ村田先生に、3年生の花だんにさいている赤い花がサルビアだと教えてもらいました。学校にはほかにどんな花がさいているのか気になったので、調べてみました。
- 調べ方
まず、学校にどんな花があるか、かんさつしました。その後で、図書館の植物図かんでかんさつした花のしゅるいを調べました。
- 調べて分かったこと
(1) マリーゴールド



校庭の入り口の近くの花だんに、マリーゴールドがさいていました。花の色はオレンジ色で、花びらがたくさんありました。葉は、こい緑色で、細長い形をしていました。近づくと、トマトのようなにおいがしました。

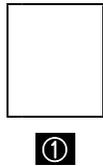
- 調べた感そう
学校にさいている花のしゅるいが、思ったよりも多くておどろきました。とくに、マリーゴールドの花が、あざやかなオレンジ色できれいだなと思いました。
村田先生のお話では、9月になると植えかえをするので、またべつの花がさくそうです。どんな花がさくのか今から楽しみです。そのときは、新しい花のことを調べてみたいと思います。

調べるときに使った本
「学校のまわりの植物図かん 夏」
〇〇社

「調べて書こう、わたしのレポート」より
(平成31年度 東京書籍)

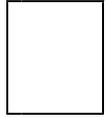
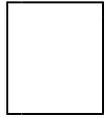
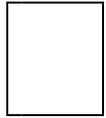
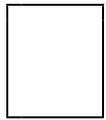
1 谷口さんが分かりやすいレポートにするために工夫していることを、次のアからエまでのの中から一つえらんで記号で答えましょう。

- ア 知りたいことについて、くわしく知っている人に聞いた内ようを書いている。
- イ 調べたことを内ようのまとまりごとに整理し、ことがらごとに見出しを立てて書いている。
- ウ ふしぎに思うことや気になることについて、思いついたじゅん番に書いている。
- エ 本だけではなく、インターネットでも調べている。



2 ふしぎに思うことや気になることについて調べ、レポートにまとめる手順について、次のアからエをならべかえ、記号を書きましよう。

- ア 組み立てを考える。
- イ レポートを書く。
- ウ 調べることをきめる。
- エ 方法をきめて、調べる。



②

※つぎのページにも問題があります。

めあて 説明のまとまりを見つげながら読もう。

一 生き物係の小野さんと谷口さんは、「ヤドカリとイソギンチャクのひみつ」について学級の人々に知らせたいと考え、次の【文章】を見つけました。これをよく読んで、あとの問題に答えましょう。

【文章】

段落のはじめにある丸数字は、その段落の番号を示しています。

く(省略)く

① なぜ、ヤドカリは、いくつものイソギンチャクを貝がらに付けているのでしょうか。

② このことを調べるために、次のような実験をしました。

③ まず、おなかをすかせたタコのいる水そうに、イソギンチャクを付けていないヤドカリを放します。タコはヤドカリが大好物なので、長いあしですぐヤドカリをかまえ、貝がらをかみくだいて食べてしまいます。

④ 次に、イソギンチャクを付けているヤドカリを入れてみます。タコは、ヤドカリをとらえようとしてしきりにあしをのびしますが、イソギンチャクにふれそうになると、あわててあしを引っこめてしまいます。ヤドカリが近づくと、タコは後ずさりしたり、水そうの中をにげ回ったりします。

⑤ 実は、イソギンチャクのしよく手は、何かがふれるとはりが飛び出す仕組みになっています。そのはりで、魚やエビをしびれさせて、えさにするのです。タコや魚はこのことをよく知っていて、イソギンチャクに近づこうとはしません。それで、ヤドカリは、イソギンチャクを自分の貝がらに付けることで、敵から身を守ることができるのです。

⑥ では、ヤドカリは、石に付いたイソギンチャクを、どうやって自分の貝がらにつすのでしょうか。ヤドカリが、イソギンチャクのはりでさされることはないのでしょうか。

⑦ ヤドカリとイソギンチャクの間係を研究しているカナダのロス博士は、ヤドカリとイソギンチャクがどのようにしていっしょになるのか、水そうで観察しました。

⑧ ソメンヤドカリを飼っている水そうに、石などに付いたベニヒモイソギンチャクを入れます。ヤドカリは、自分の貝がらにイソギンチャクを付けていても、イソギンチャクを見れば、いくつでもほしくなるようです。すぐ近づいてきて、あしを使ってイソギンチャクの体をついたり、両方のはさみで引っばったりして、イソギンチャクをはがしてしまいます。そして、かかえるようにして自分の貝がらの上におし付けるのです。ずいぶん手あらな方法に見えますが、イソギンチャクはしよく手をのびしたままで、いかにも気持ちよさそうに見えます。はりも飛び出しません。く(文章が続く)く

「ヤドカリとイソギンチャク」武田正倫 より(平成三十一年度 東京書籍)

めあて たしかめながら話を聞こう。

二月曜日の社会科の時間に、先生が社会科見学について話しました。西山さんたちは、【先生の話】を聞きながら、メモを取ることにしました。次の【先生の話】【西山さんのメモ】【山本さんのメモ】【木村さんのメモ】を読んで、あとの問題に答えましょう。

【先生の話】

二十日、水曜日の社会科見学についてお知らせです。
見学先の市役所には、学校前のバスでいから路線バスに乗っていきます。学校には八時四十分に集合してください。
持ち物は、お弁当と水とう、見学のしおり、筆記用具、それとお金。バス代は百五十円です。当日はリュックサックで来てください。それから、お天気が心配なので、雨具もわすれずに持っていきましょう。

【西山さんのメモ】

社会科見学
水曜日に市役所に行く。
八時四十分に集合する。
バスで行く。お弁当、水とう、見学のしおり、筆記用具、百五十円を持って行く。

【山本さんのメモ】

社会科見学
二十日（水）
市役所に
八時四十分集合
・弁当 ・水とう
・しおり ・筆記用具
・お金百五十円
・雨具

【木村さんのメモ】

社会科見学
二十日（水）
市役所
八時四十分集合
・弁当 ・水とう
・しおり ・筆記用具
・バス代百五十円
・雨具↑雨？
リュックサック

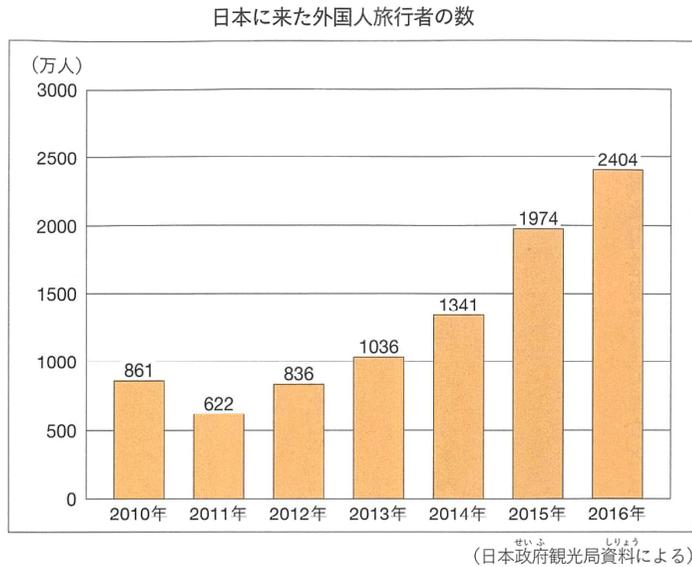
「メモを取りながら聞こう」より（平成三十一年度 学校図書）

※次のページにも問題があります。

めめて 事実と考えを区別して書こう。

一 田中さんは、次の【日本に来た外国人旅行者の数】を見て、分かった事実と、自分で考えたことを【表】に整理しました。これらを読んで、あとの問題に答えましょう。

【日本に来た外国人旅行者の数】



田中さんが整理した【表】

意見	事実
<p>・二〇一六年でも、外国人旅行者の数はまだ、少ないので、もっと努力したほうがよい。</p>	<p>・二〇一六年までの五年間、外国人旅行者の数は、年々増加した。 A。</p> <p>・二〇一六年には、外国人旅行者の数が二千万人をこえた。</p>

「事実と考えを区別しよう」より(平成三十一年度 東京書籍)

1 【日本に来た外国人旅行者の数】を見て田中さんが整理した【表】のAに入る言葉を八字以内で書きましょう。①

2 木村さんは、田中さんが整理した【表】を見て、次のような【アドバイス】をしました。Bに入る言葉として最もふさわしいものを次のAからEまでのの中から一つ選んで、記号で書きましょう。②

木村さんの【アドバイス】

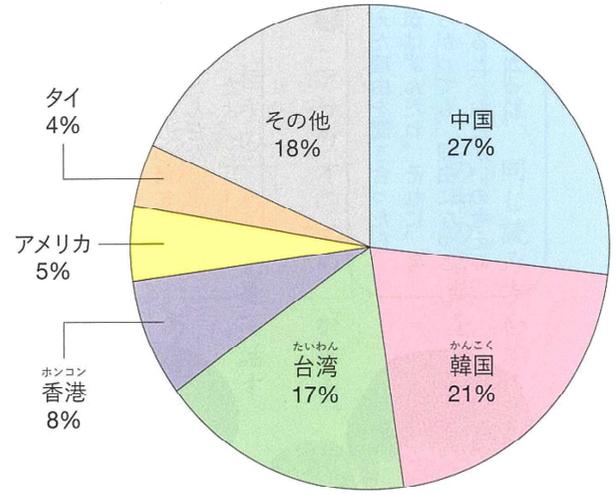
日本に来た外国人旅行者の数が、本当に少ないと言えるかどうか分からないから、Bのグラフも紹介すると思うよ。

- A 日本に来てよかったと思う外国人旅行者の数
- イ いくつかの国の外国人旅行者の数
- ウ 月ごとの日本に来た外国人旅行者の数
- E 都道府県ごとの外国人旅行者の数

3 次に、田中さんは【日本に来た外国人旅行者の内訳】のグラフを学級の友だちに紹介しました。あなたは、このグラフからどんなことを考えますか。次の【条件】に合わせ【表2】に整理しましょう。

【日本に来た外国人旅行者の内訳】

日本に来た外国人旅行者の内訳（国・地域別の6位までとその他）



2016年(全体で2404万人)

(日本政府観光局資料による)

％は、「パーセント」と読みます。一％は、百分の一を表します。

「事実と考えを区別しよう」より（平成三十一年度 東京書籍）

意見	事実
(二十字以上、三十字以内)	(二十字以上、三十字以内)

- 【条件】
- 「事実」と「意見」に分けて書くこと。
 - 「事実」と「意見」をそれぞれ二十字以上、三十字以内にまとめて書くこと。

【表2】 ※解答は解答用紙に書きましょう。

めあて ローマ字を読んだり書いたりしよう。

二 木村さんは、【写真】にある様々な表記に興味をもち、日本地図で見つけた地名をローマ字で書き表すことにしました。【木村さんのノート】の1と2の地名を、【例】のように、ローマ字でいねいに書きましょう。（※地名は、はじめの文字を大文字で書きます。）

【写真】



北海道（ほっかいどう）

ハ
Hokkaido

【例】

【木村さんのノート】の一部

地名

1 青森（あおもり）

.....

.....

.....

⑤

2 札幌（さっぽろ）

.....

.....

.....

⑥

※解答は解答用紙に書きましょう。

※次のページにも問題があります。

めあて 筆者の伝えたいことをまとめよう。

三 横山さんの学級では、「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」という説明文を読んで筆者の伝えたいことについて話し合っています。次は【説明文の一部】と【話し合いの様子の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【説明文の一部】

動物たちは海の中で何を見て、どんなことを考えて日々くらししているのだろうか。あたりまえのことだが、動物たちはすでに答えを知っている。どうしてもそれを知りたい研究者たちは、新しい手法を考案した。動物にデータロガーという小型の記録計を取り付けて、わたしたちが観察できない海中の行動を、動物たちに直接教えてもらうのだ。動物が自分の行動データを取ってくるこのやり方には、「バイオロギング」という名前が付いている。「バイオロギング」とは、「生物が（バイオ）記録する（ロギング）」という意味である。

く（中略）く

マッコウクジラに取り付けた装置には、クジラの動きがくわしく記録されていた。マッコウクジラは、千メートル以上の深さまでもぐっていた。そのときの泳ぐ速さは、時速五・八キロメートルだった。体重十トンを超えるマッコウクジラは、ペンギンやアザラシよりもはるかに大きいから、もっと速く泳ぐと思っていたが、ペンギンやアザラシと同じような速さで泳いでいた。

このほかにも、わたしと仲間たちで世界中の海をめぐり、さまざまなお乳類や鳥類に記録計を取り付けてきた。クジラの中でも最大となる体重九十トンのシロナガスクジラから、体重五百グラムのウトウという海鳥まで、いろいろな動物の泳ぐ速さをくらべてみた。すると、これだけ体の大きさがことなるのに、泳ぐ速さは時速四・〇から八・〇キロメートルのせまい範囲におさまっていることが分かった。これはいったいなぜなのか。

この結果から考えられるのは、次のようなことである。動物たちは毎日えさをとるために潜水をくり返している。かれらにとって大切なことは、できるだけ速く泳ぐことではなく、できるだけ楽に移動することだ。もしも全速力で泳いでしまうと、わたしたちが走った後に息切れするのと同じように、せっかくなえさ場にたどり着いたのにすぐに水面に引き返さなければならぬ。逆にゆっくり泳ぐと、えさ場までたどり着くのに時間がかりすぎるので、帰りに要する時間を考えると、えさのいる深さに長時間とどまることができなくなる。泳ぐことによるエネルギーの消費を最小限におさえるためには、速からずおそからず、いちばんよい速度があるはずだ。それが時速四・〇から八・〇キロメートルだったのだ。

バイオロギングで調べてみると、海の中でくらす動物たちは、おどろくほど深く長くもぐることができる一方で、意外とゆっくり泳いでいた。その理由を調べてみると、その行動には意味があることが分かってきた。深いところにいるえさをとるために、深く長くもぐる能力を身につけ、つかれることなく泳ぎ続けられるようによい速さを選んでいったのだ。それぞれの生息環境に合わせて日々のくらしぶりをくふうし続けた結果、こんなにも多くの動物たちが海で進化してきたのだろう。

これからも動物に取り付ける記録計は年々改良されて、どんどん小さくなっていくはずだ。より小型の動物まで調査の対象が広がり、予想もしなかった動物たちのくらしぶりが見えてくると、知りたいことはさらに増えていくだろう。この先、バイオロギングによって、どんなデータが得られるようになるのだろうか。動物たちから学ぶことは、まだまだたくさん残されている。

「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」佐藤克文 より（平成三十一年度 東京書籍）

【話し合いの様子の一部】

横山 筆者の言うとおり、動物に取り付けられる記録計の①が見えにくくて小さくなっていくと、考えもつかない②と思うな。

原 そうだね。知りたいことがどんどん増えてくるね。

田中 この説明文では、マッコウクジラに取り付けた装置の記録から分かったことが二つ書かれていたね。

木村 どこにそのことが書いてあるの。

田中 (書かれている場所を示しながら説明) ほら、ここに書いてあるよ。

木村 本当だ。マッコウクジラ以外にも、たくさん動物に記録計を取り付けたんだよね。

横山 その結果、体の大きさに関係なく、泳ぐ速さは時速四・〇から八・〇キロメートルのせまい範囲におさまっていることが分かったんだよね。

原 ぼくは、この結果から筆者が考えたことをノートにまとめてみたんだ。

1 【話し合いの様子】の①に入る記録計の名前を【説明文の一部】に書かれている言葉を使って八字以内で書きましよう。⑦

2 【話し合いの様子】の②に入る筆者の考えを【説明文の一部】に書かれている言葉を使って十字以内で書きましよう。⑧

3 【話し合いの様子】の中の~~~~線部「分かったこと」とは、どのようなことですか。【説明文の一部】に書かれている言葉を使って二つ書きましよう。(完全解答)⑨

4 次は、【話し合いの様子】の中の~~~~線部の【原さんのノート】です。【原さんのノート】のA、Iに入る言葉を【説明文の一部】に書かれている言葉を使って書きましよう。⑩⑪

【原さんのノート】

〔筆者が考えたこと〕

- 動物たちにとって大切なのは、速く泳ぐことではなく、できるだけ移動すること。
- 動物たちにとって、時速四・〇から八・〇キロメートルで泳ぐのは、エネルギーの消費を最小限におさえられる速度である。
- 海の中でくらす動物たちの行動には意味があることが分かってきた。

体の大きさと泳ぐ速さの関係 (筆者らの調査による)

動物	体の大きさ (キログラム)	時速 (キロメートル)
ウトウ	0.5	4.0
コガタペンギン	1	6.5
ヨーロッパヒメウ	1.6	5.8
マカロニペンギン	3	7.2
アデリーペンギン	4	7.6
キングペンギン	12	7.6
エンペラーペンギン	25	7.9
スナメリ	49	4.7
バイカルアザラン	70	4.0
ウェッデルアザラン	330	5.4
キタゾウアザラン	333	6.5
シャチ	3000	5.0
マッコウクジラ	16000	5.8
シロナガスクジラ	90000	8.0

国語 解答用紙

★先生方へく解答欄の①く②番号は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

一

1
A

8

①

2
B

②

二

地名
1 青森（あおもり）

⑤
2 札幌（さっぽろ）

⑥

3					
意見			事実		
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
30	20		30	20	

④

③

いざというときのために

－地しんに備えて－

●どんな備えをしているのかな

右のグラフは、防災に関する世論調査の結果です。これを見ると、非常時に必要な物を準備したり、家具などの転とう防止の対策をとったりしている人が多いことが分かります。

一方、避難場所を決めたり、

①

みなさんは、いざというときのために、どんな備えをしていますか。

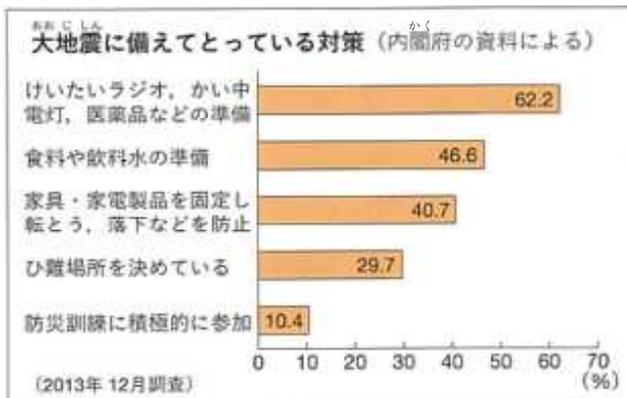
●持ち出しぶくろを準備しよう

非常用の持ち出しぶくろを用意しておく、地しんが来たときにあわてずに必要な物を持ち出すことができます。持ち出しぶくろには、下のリストに挙げたものを入れておくといでしょう。ぶくろは、分かりやすいところにしまって、いざというときに活用しましょう。

非常持ち出し品のリスト（消防庁の資料などによる）

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 食料 | <input type="checkbox"/> かい中電灯 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 衣類・下着 |
| <input type="checkbox"/> 貴重品 | <input type="checkbox"/> 毛布・タオル |
| <input type="checkbox"/> 医薬品・救急用品 | <input type="checkbox"/> けい帯ラジオ・予備電池 |
| <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災頭きん | <input type="checkbox"/> 使いすてカイロ |
| <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 軍手 | <input type="checkbox"/> せん面用具 |
| | <input type="checkbox"/> 筆記用具 |

また、持ち出しぶくろに入れるものとは別に、食料や飲料水は、一人あたり最低三日分を備ちくしましょう。食料は、お湯か水を注ぐだけで食べられる米や、ビスケット、チョコレート、かんパンなどがよいでしょう。飲料水は1日3リットルが目安です。



●家の中を点検しよう

地しんのときには、テレビやたながたおれてきたり、ガラスが割れて破へんでけがをしたりするきけんがあります。家具の転とうを防ぐには、つっぱりぼうや転とう防止板などで固定するのが効果的です。ほかにも、右の図のような防災用品があります。家の中を点検し、きけんをさけるための対策を検討してみましょう。

室内の防災用品



【防災を呼びかけるポスター】

一 石川さんは、地震に備えるための資料を読んで、自分の考えをまとめ、防災を呼びかけるポスターを作り、クラスで紹介し合うことにしました。次は石川さんが書いている【防災を呼びかけるポスター】です。これを読んで、あとの問題に答えましょう。

めあて 表現の効果を考えて報告しよう。

令和三年度 ほかいどうチャレンジテスト
一学期末問題（第二回） 国語 小六

組 番 氏名

1 石川さんは、次のような【割り付け】にして、【防災を呼びかけるポスター】を作りました。A・B・Cにはそれぞれどのような内容が書かれていますか。その組み合わせとして最も適切なものを、あとのアからエまでの中から一つ選びましょう。①

題名	
A	
B	C

【割り付け】

- | | | | | | | |
|---|---|--------|---|------------|---|------------|
| ア | A | 調査の結果 | B | 全体のけい向 | C | 資料から分かったこと |
| イ | A | 調査の結果 | B | 資料から分かったこと | C | 図の説明 |
| ウ | A | 紹介と案内 | B | 調査の結果 | C | 図の説明 |
| エ | A | 出来事の報告 | B | 全体のけい向 | C | 調査の結果 |

2 石川さんは、次の【題名の候補】の三つの中から【実際の題名】として①を選びました。①の題名は、どのような効果をねらって、どのような表現の工夫をしていますか。その説明として最も適切なものを、あとのアからエまでの中から一つ選びましょう。②

【題名の候補】

- ① いざというときのために
ー地しんに備えてー
- ② 地しん対策で安全確保
- ③ 地しんに備えませんか



【実際の題名】

- ① いざというときのために
ー地しんに備えてー

ア 伝えたいことを明確にするために、強調したい言葉をサブタイトルにしている。
イ 読み手の興味を引くために、地震対策について最初に詳しく書いている。
ウ 実際に取り組んだ内容を具体的に示すために、地震対策を複数示している。

3 石川さんは、【防災を呼びかけるポスター】の①の中には、大地震に備えてとっている対策における課題を書くことにしました。①に入る内容を、次の【条件】に合わせて書きましよう。③

【条件】

- 【防災を呼びかけるポスター】の「大地震に備えてとっている対策（内閣府の資料による）」のグラフから考えて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、二十字以上、三十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくまない。

めあて 論の進め方をとらえながら読もう。

二 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

イースター島から森林が失われた大きな原因は、この島に上陸して生活を始めた人々が、さまざまな目的で森林を切り開いたことである。

まず、農地にするために森林が切り開かれた。

安定した食りよう生産を行うためには、農作物をさいばいするための農地を開くだけではならぬ。「花粉分析」の結果、島の堆積物の中にふくまれる樹木の花粉が時代とともにしだいに減少したことが明らかになっている。

次いで、丸木船を作るために、森林から太い木が切り出された。

イースター島が緑の森林におおわれていたころ、森林には丸木船を作るのに十分な太さのヤシの木がたくさん生えていた。その木を切りたおして作った丸木船をこいで、島の漁師たちは、サメなどの大きな魚をとらえていたのである。また、島に住む人々は、この丸木船に乗って、島から四百キロメートルもはなれた無人島まで行き、そこに生息する無尽蔵ともいえる海鳥をとらえて食りようにするこもできた。

さらに、食りよう生産との関わりが深いこれらの目的に加え、宗教的・文化的な目的でも森林が伐採された。イースター島では、祖先を敬うために、火山岩の巨石に彫刻をほどこす宗教文化、すなわち、モアイ像の製作がさかんになった。

モアイ像は、高さが三メートルから十メートルもあり、重さは三トンから十トンにもおよぶ。中には、高さ二十メートル、重さ五十トンに達するものまである。

モアイ像は、島の石切り場から切り出された巨大な火山岩を、のみでけずって作られる。そして、ときには十数キロメートルもはなれた所まで運ばれ、てこを用いて立てられた。このモアイ像を、石切り場から運ぶために森林がぎせいとなった。重さが何トンもある巨大な像を運んでゆくのに、森林から切り出された木が利用されたのである。

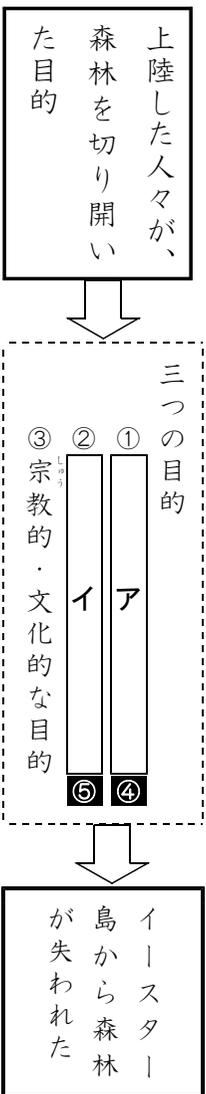
イースター島では、豊かな森林の恩恵を受けて、高度な技術をほこる巨石文化が栄えた。西暦一五〇〇年ごろには、人口は七千人に達していたと推定されている。

※堆積物：風や水などに運ばれて積もった土や砂。

「イースター島にはなぜ森林がないのか」鷺谷いづみ より（平成三十一年度 東京書籍）

※次のページにも問題があります。

1 山川さんは、この文章を次の【図】のようにノートにまとめることにしました。鳥から森林が失われた原因について、次の【図】の【ア】、【イ】に入る言葉を文章中から七字以上、十字以内で書きぬきましよう。



2 ———線部「宗教的・文化的な目的」とありますが、具体的にどのようなことをするのでしょうか。次の【条件】に合わせて書きましよう。⑥

【条件】

- 「祖先」という言葉を使うこと。
- 二十字以上、三十字以内で書くこと。

3 この文章はどのような工夫をしていますか。次のアからエまでの中から一つ選びましよう。⑦

ア 自分の考えを強調するために、自分の考えをくり返し述べている。

イ 読み手に自分の考えを知ってもらうために、疑問を投げかけている。

ウ 自分が伝えたいことをくわしく示すために、原因と結果に注意して書いている。

エ 読み手を説得するために、感想や意見を中心に書いている。

めあて 文の構成を理解しよう。

三 次の1と2の問いに答えましよう。

1 ①と②の文の主語として適切なものを、次のアからエまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ① わたしの ^ア学校の ^イ開校記念日は、 ^エ七月一日だ。⑧

- ② わたしは、 ^ア宿題で ^イ感想文を ^エ書いた。⑨

2 ①から③の文は、下の【文の型】の【ア・イ・ウ】のどの型に当たりますか。適切なものをそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ① この山から見える景色は、すばらしい。⑩
- ② 日本で一番北にある都道府県は、北海道だ。⑪
- ③ ぼくは、心の底から野球部の勝利を願った。⑫

【文の型】

ア 「何は(が)」「何だ」
イ 「何は(が)」「どうした」
ウ 「何は(が)」「どんなだ」

学校名					/ 12 問中
組					
出席番号					
氏名					

へここから左には解答を書いてはいけません。

2		
③	②	①

⑫ ⑪ ⑩

三

1	
②	①

⑨ ⑧